

総合交通メールマガジン

第40号

平成23年10月28日発行

発行元：国土交通省 総合政策局

秋村参事官室(総合交通体系)

目次



ごあいさつ

- 国土交通省 総合政策局長 中島 正弘
- 国土交通省 政策統括官 大森 雅夫



Topics

- ・ **【日付・会場決定】** 第32回総合的交通基盤整備連絡会議の開催について
《福島県郡山市にて平成24年1月17日開催、18日は現地視察》
- ・ 交通の諸問題に関する検討会の開催について



地域の取り組み紹介【定住自立圏 第2弾】

- ・ 「八戸圏域定住自立圏路線バス上限運賃化実証実験」について
(青森県八戸市 都市整備部 都市政策課)



イベント案内

- ・ **【11/14, 15 開催】** 八戸市主催「自治体コンソーシアム形成フォーラム」の開催
(八戸市 都市整備部 都市政策課)
- ・ **【11/4㍻切、11/14 開催】** 兵庫県主催「平成23年度第3回公共交通勉強会」の開催について(兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課)
- ・ **【11/4, 5 開催】** LRT 都市サミット富山2011の開催
(富山市 都市整備部 都市政策課)



参事官室だより

- ・ 平成23年度ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業(長崎)について
- ・ 室員紹介 ～第六回 堀専門調査官 ～



Information

- ・ 総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！
- ・ 地域の取り組み 及び イベント案内募集！！



編集後記

ごあいさつ

総合政策局長 中島 正弘

9月の人事異動により、総合政策局長を拝命いたしました中島正弘です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

前職では、国土政策局長として、国土全体を俯瞰的する立場から、少子高齢化の進む中での長期的な国土のあり方について検討してまいりました。また、東日本大震災の発生を踏まえ、「災害に強い国土づくりへの提言～

減災という発想にたった巨大災害への備え～」を7月に取りまとめました。

総合政策局においては、国土交通省の施策全体を総括する立場から、社会資本整備、交通政策、環境政策などに携わって行きたいと考えております。中でも交通政策については、現在、「交通の諸問題に関する検討会」を開催し、有識者の方々により、大所高所からの視点や中長期的な視点、また、専門的な観点などから幅広くご議論いただき、交通の分野の全体状況、問題点等を把握・整理した上で、交通及び交通施策について幅広い検討を行っております。

交通に係る観点の一つである総合的な交通体系の整備を推進する上で、全国幹線旅客純流動調査等詳細な調査の実施により人や物の移動の状況を把握し、NITAS（総合交通分析システム）等により多様な交通モードを考慮した交通体系の分析を行い、国土そして地域における交通体系のあり方の検討、地域におけるモビリティ戦略に活かしていくことが重要です。また、各地域の実情に即して具体的な施策を進めていく中で、先進的な取り組みを進めている地域の情報の提供や関係者のネットワーク形成などを通じた地域の人材育成も重要です。

このメルマガによる国の施策の説明や各地域における様々な取り組みの紹介をはじめとして、HPによる情報提供、全国会議の開催等により、総合交通体系の整備に資する情報提供、ネットワークづくり、人材育成を進めてまいりたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



政策統括官 大森 雅夫

9月の人事異動で、政策統括官を拝命いたしました大森雅夫です。担当は、ICT（Information and Communication Technology：情報通信技術）等を活用した歩行者移動支援や税制、国土・国会等移転、安全・安心のためのソフト対策推進対応です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



前職は建設業を総括する大臣官房建設流通政策審議官を約1年、前々職は内閣府の政策統括官（防災担当）として、約2年間政府全体の防災対策に取り組んでまいりました。建設業と防災対策、それぞれの施策は大きく異なりますが、少子高齢化など社会情勢や経済情勢をしっかりと踏まえた対策を推進することが重要であり、そのために近年急速に進展するICTの積極的な活用がどの政策分野においても期待されているところです。

そのような中、急速な少子高齢化社会の進展に向けて、高齢者や障がい者をはじめ、誰もが必要に応じ、積極的に活動できるバリアフリー環境をソフト施策の面から構築するため、ICT等を活用した歩行者移動支援を推進しています。今年度は、全国4箇所（函館市、銀座、宇治市・京都市、長崎市）で、その実証のための現地事業を実施しております。先日、東京の銀座の取り組みを見てまいりました。そこでは、様々な技術を組み合わせた地上・地下シームレスな案内や、来訪者に銀座の魅力を伝える情報の提供など、全国のトップランナーとして先進的なサービスが提供されており、今後の全国展開に大きな期待を持つと共に、ユニバーサルサービスを提供する上でICTの重要性を改めて感じました。また、東日本大震災を踏まえ減災の観点からの施策の推進が必要とされている中、平常時のみならず、災害時においても対応できる施策を検討してまいります。

ICT等を活用した歩行者移動支援については、このメルマガでも随時、紹介してまいりたいと考えておりますので、ご期待ください。

Topics



第32回総合的交通基盤整備連絡会議の開催について

《福島県郡山市にて平成24年1月17日開催、18日は現地視察会》

(国土交通省 総合政策局 参事官室(総合交通体系))

参事官室(総合交通体系)では、総合的な交通施策に関し、都道府県及び政令指定都市との連絡調整を図り、各地方公共団体における総合交通関連の検討等を支援することを目的として、平成24年1月17日(火)に標記会議を開催致します。今回は、初の地方開催ということで、東日本大震災を鑑み、福島県郡山市にて開催することとなりました。更に、翌18日(水)には、東日本大震災被災地である福島県いわき市に伺い、被災当時の状況、交通に係る諸問題について現地視察を行う予定です。詳細の講演内容については調整中ですが、先行案内をさせていただきます。議事次第、現地視察などそれぞれ内容が決まりましたら、改めて情報提供させていただきます。

会 議：第32回 総合的交通基盤整備連絡会議

開催日：平成24年1月17日(火) 13:30~16:30(第1部)

16:45~17:45(第2部)

場 所：福島県郡山市 市民交流プラザ大会議室(郡山駅徒歩5分)

http://www.city.koriyama.fukushima.jp/pcp_portal/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=17410

参加者：都道府県、政令指定都市の担当課長等、希望される区市町村担当者

議事次第：検討・調整中

参加行程の目安：<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1110koutei.pdf>

現地視察：翌18日(水)福島県いわき市現地視察(予定・調整中)

(行程イメージ：8:45 郡山駅出発、いわき駅 14:30 頃解散、郡山駅 16:30 頃解散)

初の地方開催とことから、各自治体からのアクセス時間等参加行程の目安について整理しましたのでご参考ください。また、17日中に帰路につかなければならない方向けに、1部、2部構成とし、1部は13:30~16:30、2部は16:45~17:45として開催することにさせていただきました。

昨年、一昨年と同様、標記会議におきましては、都道府県及び政令指定都市の交通関係の担当者のほか、希望される区市町村の担当者にも幅広くご出席頂きたいと考えています。

標記会議へのご出席を希望される区市町村の担当者の方は、必要事項(区市町村名、部署・役職名、ご出席者名、1部、2部、現地視察それぞれの参加意向、電話番号、E-mail)をご記入の上、平成23年12月26日(月)までに、本メールマガジンの最終ページに記載されているメ

ールマガジン担当（野津）宛てに、E-mail にてお送り下さい。追って、当方から確認の E-mail をお送り致します。

※会場の都合上、出席の申込は先着順とさせていただきます。昨年度より座席数は増加しますが、希望者多数の場合、勝手ながら出席の申込をお断りする場合がありますので、予めご了承下さい。

「交通の諸問題に関する検討会」の開催について

これまで3回、標記会議が開催されております。以下に、標記検討会の設置趣旨を抜粋しました。遅ればせながら紹介いたします。

今後の予定は、第4回11/11（木）「まちづくりや観光立国の実現の観点」、第5回12/8（木）「国際競争力の強化や地域の活力の向上（人流・物流）、総合的な交通体系（人流・物流）※災害に強い交通体系のあり方も含む」、第6回12/22（木）「安全の確保、環境負荷の低減 等」となっております。

【第1～3回資料】: http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000027.html

《設置要旨抜粋》

人口減少・少子高齢化の進展や地球温暖化の防止に関する取組の必要性の増大、国際競争力の激化など、社会経済情勢が著しく変化してきている中で、交通の分野においても、これらに的確に対応しつつ諸課題に取り組むことが求められている。

一方、現在、国土交通省においては、交通の分野に密接に関わるものとして、社会資本整備重点計画の見直し、中期的な地球温暖化対策の検討、観光立国推進基本計画の見直し等が行われているところである。

そこで、これらの動向を踏まえつつ、交通の分野の全体状況、問題点等を把握・整理した上で、交通及び交通施策について幅広く検討することが必要となっている。

このため、有識者の方々により、大所高所からの視点や中長期的な視点、また、専門的な観点などから幅広くご議論いただく場として、「交通の諸問題に関する検討会」を設置することとする。

地域の取り組み紹介 【定住自立圏 第2弾】

 「八戸圏域定住自立圏路線バス上限運賃化実験」について

(青森県 八戸市 都市整備部 都市政策課)

6月発行のメールマガジンに引き続き、定住自立圏の取組を紹介させていただきます。今回は、平成23年に地域公共交通活性化・再生優良団体として国土交通大臣表彰を受賞された八戸市における取り組みを紹介させていただきます。

地域の生活を支えるモビリティの確保について、これまでも数々の多様な取り組みをされている八



戸市において、定住自立圏におけるネットワークの課題解決に向けた新たな取り組みがこの10月より始まっています。多様な経験をされてきた八戸市における、積極的でユニークな複数市町村連携の取り組みをご覧ください。

《記事はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1110hatinohe1.pdf>

【八戸市 上限運賃化実証実験HP】 <http://www.hachinohebus300500.jp/>

イベント案内

ご購入の方々からのイベント情報、耳より情報お待ちしております。また、イベント主催者の方々も、このメーリングリストも広報の場として活用頂ければ幸いです。(情報提供はこちらまで soukou@mlit.go.jp)

 **【11/14,15開催】八戸市主催「自治体コンソーシアム形成フォーラム」の開催**
(青森県八戸市 都市整備部 都市政策課)

本号にて定住自立圏の取組を紹介頂いた八戸市主催で、自治体間の連携を高めるためのフォーラムが開催されます。毛利元就の三本の矢ではないですが、地域の抱える課題を一つの地域だけの悩みとすることなく、先進的な事例の紹介や自治体間のネットワークを通して、行政課題解決の一助とする様なフォーラムとなっております。八戸市まで東京駅から新幹線で3時間、一眠りしているうちに到着します、ご興味のある方は是非ご参加ください。

《ご紹介》 <http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1110hatinohe2.pdf>

《会議プログラム詳細、参加申し込み案内はこちら↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1110hatinohe3.pdf>



【11/14開催】兵庫県主催 平成23年度第3回公共交通勉強会
～テーマ『課題から学ぶ』～ のご紹介（11/4×切でご注意を）
（兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課）

表記勉強会、前回に引き続き直前のご紹介となりますが、兵庫県神戸市にて、行政の方、交通事業者の方を対象とした勉強会が11/14（月）に開催されます。

参加申し込み用紙も記事に付けております、11/4×切と時間がないので、近郊の方も、そうでない方も、これぞ！と思ったら迷うことなくまず応募してください。今年度最後の開催とのこと、お見逃しなく。

《詳細はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1110hyougo1.pdf>

《参加申込書はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1110hyougo2.pdf>



【11/4.5開催】LRT都市サミット富山2011の開催
（富山市 都市整備部 交通政策課）

LRT、路面電車の良さを全国に発信するため、路面電車が走っている都市の首長が富山市で一堂に会し議論を進める表記イベントが開催されます。11/4（金）、5（土）と開催が迫っております。入場無料、事前申し込みの必要もないとのこと、お見逃しなく。

《詳細はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1110lrtsamitto.pdf>

《LRT 都市サミット富山 2011HP》

<http://www.city.toyama.toyama.jp/toshiseibibu/kotsuseisakuka/lrt-summit.html>

参事官室だより



平成 23 年度ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業（長崎市）について

今年7月末発行のメールマガジンにて全国4箇所を選定した旨ご紹介した、「平成23年度ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業」について、現地の取り組みの様子が届きましたのでご紹介します。

4地区の最初として、長崎市における「3G回線を活用した路面電車・利用者双方向位置情報配信システムによる歩行者移動支援サービス」についてご紹介します。随分と難しいタイトルですが、長崎の生活の足となっている路面



気になった方はアクセスを

電車について、車両や電停といった施設のバリアフリー化だけでなく、低床車が今どこを走っているのか、電停から目的地までバリアのないルートで行くにはどう行けば良いか携帯電話で知らせることで、路面電車に乗ってから降りた後まで安心して移動できるよう支援するものです。

以下で、この取組の詳しい内容を紹介していますので、ご興味がありましたらご参照ください。

《記事はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1110idousienn.pdf>

室員紹介 ～ 第六回 堀専門調査官～

第六回は、鹿児島県鹿児島市出身堀「貞治（さだはる）」専門調査官です。残念ながら（？）、普通に二本足で構えています。

室員の中で、「船」について熱い話ができるのは他にいないかもしれません。船は普通水の上ですので、船に乗るためにはお住まいのところからいくつかの交通手段を経由してアクセスすることに。旅客のみならず、物流の面でも船で運んだものは、実際の目的地まで「乗り継いで」運ばれる事になります。その点でも、「船」と総合交通体系は切っても切り離せない関係かもしれません。

黒豚以外の鹿児島名物も紹介されています、是非ご覧ください。

《記事はこちらから↓》

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/1110situin.pdf>



一本足。仕事も交通も
バランスよくいきたいですね

Information

総合交通メールマガジンへのご意見をお寄せ下さい！

総合交通メールマガジンでは、読者の皆様からのご意見・ご要望を踏まえて内容を充実させていきたいと考えています。誌面の感想、取り上げて欲しいテーマなど、どのようなことでも構いませんので、ご意見等頂けると幸いです。様式、送付先については、下記URLをご利用下さい。

URL：<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/soukou-magazine/iken-merumaga.xls>

引き続き、メールマガジンの受付窓口が変更になった行政機関等の方については、送信先の変更を申請下さい。なお、変更内容については、以下までお願いします。

E-mail：soukou@mlit.go.jp



地域の取り組み 及び イベント案内 募集！！

当室では、情報提供頂いた取り組みをメールマガジンで紹介することにより、各地域でノウハウ等の情報共有・情報交換ができればと考えており、総合的な交通施策の取り組みについて情報提供頂ける自治体等を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、お気軽にご連絡下さい。

また、被災地への情報支援の意味でも被災後の取り組み、災害を見据えた防災力向上の取り組み、今回東日本大震災の被災地に対して、交通分野等で現在支援を行っている自治体、NPO 等の事例について、ご紹介頂ける方がいらっしゃいましたら、是非情報提供頂けますでしょうか。

更に、イベント案内について、主催者でも結構ですし、耳より情報でも結構です。勉強会や講演会、セミナー等ご紹介頂ければ、当メールマガジンにて案内をさせていただきます。

(情報提供はこちらまで soukou@mlit.go.jp)

【情報提供頂く内容】

例えば、・ 低炭素社会の実現に向けモビリティのあり方を見直す取り組み（交通の再編等）

・ 交通の改善により地域活性化を図る取り組み など

※ これまでに、推薦頂いたものも含めて70件の取り組みを紹介させて頂きました。

バックナンバー一覧：

http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/seisakutokatsu_soukou_tk_000005.html



今年度の開催で第32回を数える総合的交通基盤整備連絡会議の日程、会場について、本号で案内させて頂きました。昭和58年、私が幼少の時から開催されている同会議で初めて、東京以外の開催となります。未だに続く風評被害の中、観光業界の中で福島県に来訪することで少しでも復興支援に繋がりたいとの動きがあると聞いております（参考 HP 日刊トラベルニュース：<http://www.travelnews.co.jp/news/tourist/1108031049.html>）。ささやかなりとも、本会議の開催も被災地にとって活力につながって行ければと考えております。

多分に調整中のところもあり、内容については次号を目処にお知らせしたいと考えております。会議に参加される時間についても、全国各地からの行程を踏まえ融通させて頂きます。是非とも積極的なご参加よろしくお願いします。

また、前号までご案内しておりました『総合交通体系（地域モビリティ戦略）研修（11/28～12/1）』も応募を締め切らせて頂きました。参加頂く方々には、満足頂ける様しっかり頑張ります。来年もまた参加を希望されるような研修とすべく、皆様の研修に向けたご要望などあれば検討させて頂きたいと思っております、是非ご意見など頂ければと思っております。

年末・年度末に向けて、様々な勉強会、セミナー、フォーラムなど企画されているところもあるかと思えます。是非『イベント紹介』にてご案内させて頂ければと考えておりますので、以下問い合わせ先に記載しておりますメールアドレスまで、ご連絡ください。

【問い合わせ先】

国土交通省 総合政策局 参事官室（総合交通体系） 野津隆太

TEL：03-5253-8111（内線53-113）

FAX：03-5253-1675

E-mail：soukou@mlit.go.jp

URL：<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/index.html>

